

第4回震災対策救助訓練（ブリーチング）



日 時 平成26年3月26日、27日（2日間）
09時00分～12時00分まで

場 所 AP&PP 高萩事業所施設内

目 的 削岩機（コブラコンビ）の取り扱い及び検証

内 容 ブリーチング（コンクリート壁を破壊し開口部を設定する）

参加者 高萩消防署 甲部中隊 乙部中隊

今回の訓練においては、国際緊急援助隊（JDR）救助チームのダーティーブリーチングとクリーンブリーチング資料を参考として訓練を実施しました。



サーチングホールの設定状況

（穿孔して内部を確認する）

サーチングホール設定時に鉄筋に当たると、広範囲に振動が大きくおこり、少し離れたところでも、足裏へ振動を感じることができる。

鉄筋が通ってないところでは、数十秒で貫通します。ドリルが止まり、振動を感じたら別の場所へサーチングホールを設定し直した方が良いと思います。



ダイヤモンドブレードを使用して、はつり（打撃・破碎）を容易にするために切込みを入れる。

一辺90cmを三角形に鉄筋手前まで切込みを入れ、鉄筋切断器具を挿入できる幅をはつる。切込み線の間隔が狭く多い方が、はつり作業が楽になります。

コンクリート切断時間とはつり時間のバランスを考えると、コブラコンビとハンマードリル、ボール等、はつり器具が充実していれば、線の間隔と本数を減らし、はつり器具が不足していれば、切込み間隔を狭く、本数を増やした方が良い。







ブリーチング完了

前回訓練での反省事項を踏まえ、クリーンブリーチングの手技で三角形の辺のみをはつり、鉄筋を切断して、コンクリートを除去する方法を試した結果、はつる面積を減らすことができ、コブラコンビ導入もあり、大幅時間短縮に成功しました。

前回の訓練場所よりコンクリートが薄いこともありますが、甲部中隊、乙部中隊とも、50分前後で進入口の設定ができました。



国際緊急援助隊（JDR）救助チームのダーティーブリーチング

続いて時間がありましたので、国際緊急援助隊（JDR）救助チームのダーティーブリーチング方法を検証してみました。

サーチングホールを作成して、内部を確認した後、サーチングホールを中心にして、周りに10cm間隔に穿孔を行う。穿孔した付近をコブラコンビとハンマードリルではつり開口部を広げて、救助者、要救助者が通り抜けられる円形の開口部を作る。









ブリーチング完了 所要時間40分

カッターでの切込み時間分短縮されたと思います。コンクリートの厚さや質にもよりますが、要救助者が近くにいなければ、非常に有効な方法であると思います。

ダーティーブリーチング 2







ブリーチング完了所要時間50分

兵庫県下統一ダーティーブリーチングを参考にしました。



訓練お疲れ様でした